

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35233
事業名	サッポロ・シティ・ジャズ事業費					
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課				
	課長名	木戸 拓史	担当者名	平 将士、菅原 真	電話番号	011-211-2261
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他				
	目的	短期	ジャズを聴く場や中高生を含むアマチュアが演奏できる場を設けるなど、音楽に触れる機会や発表の機会を提供することにより、音楽文化の振興や次代の担い手の育成を図る。			
		長期	音楽文化を通じた地域や観光の活性化及び札幌の魅力発信を図る。			
	取組内容	ジャズを中心とする多様な音楽事業として、プロライブや公募バンドによる無料ライブのほか、中高生バンドによる発表・交流事業や道内各地で企業と連携した音楽イベントなどを展開する。 ①事業費負担金: サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(事務局: 公財)札幌市芸術文化財団芸術の森事業課)への負担金 ※中高生バンドによる発表・交流事業を含む ②事務費: 業務に伴う時間外勤務手当				
	実施結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響より、夏のパークジャズライブをオンライン配信に切り替えた等、各事業において実施方法を工夫しながら、市民がジャズに親しむ機会を提供した。				
事業実施における工夫点	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、夏のパークジャズライブを「パークジャズライブON WEB」「パークジャズライブコンテストON WEB」として、オンラインで実施した。					
対象者	市民、観光客	開始	平成19年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例					
他都市の状況	国内外の各地において大小様々なジャズフェスティバルが行われているが、代表的なものとしては、横濱Jazz Promenade(横浜)、定禅寺Jazz Street(仙台)、Tokyo Jazz(東京)などが挙げられる。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	8,278	8,300	8,279	11,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	10,438	10,460	10,439	13,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	実行委員会への負担金 : 8,000千円 その他(職員関連費等): 279千円			
	令和4年度予算	実行委員会への負担金 : 10,700千円 その他(職員関連費等): 300千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	パークジャズライブ会場数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	中止	12(R1同程度)	中止	12(R1同程度)	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	サッポロ・シティ・ジャズ年間観客数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	19,791人	82,000人	15,965人	40,000人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	札幌を象徴する音楽イベントの一つとなり、観光資源としての活用や国内外への札幌の魅力発信などの効果も期待されている。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムの変更や一部事業の次年度以降への先送りがあり、年間来場者数(オンライン視聴者数を除く)が前年度を下回ったものの、幅広い世代が参加できる多様な音楽イベントを実施しており、音楽文化の振興に大きく寄与している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	市民参加型のイベントのほか市内の観光施設を会場としたイベントや企業とのタイアップ事業も実施するなど、本市における音楽文化の振興や観光の活性化に寄与する事業となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響により来場者数が減っていることから、今後は来場者数の回復に向けて事業展開の一層の工夫について検討していく必要がある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	B	芸術文化財団、行政、経済団体、マスコミ、旅行代理店等からなる実行委員会で実施しており、それぞれの立場から意見や協力を得ることができる実施形態となっている。 収支面では、安定的な事業運営が実現されるよう、事業の実施手法の検討や協賛金等の収入確保に努めていく必要がある。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	親子連れや障がいのある方にも気兼ねなく楽しんでもらえるよう、市民交流プラザにおいて構成を工夫した多彩なプログラムや、気軽にジャズを聴ける無料のランチタイムコンサートも開催しており、多様な市民ニーズに応じた、ジャズに触れる機会を提供できたと考えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、限られた予算の中で効果的な事業のあり方を検討していく必要がある。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	多様なイベントを実施し、多くの市民にジャズを楽しむ機会を提供した。新型コロナウイルス感染症の影響により来場者数が減っていることから、今後は来場者数の回復に向けて事業展開の工夫について検討していく必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 札幌市として、負担金の交付及び事業支援を行っていく予定。また、より効果的な事業展開等について検討していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 事業内容及び規模を維持するためには、現状の費用負担は維持する必要がある。		見直し効果額	0 千円